

平成21年度

青森県地域医療を担う医師確保対策事業

(全国医学生を対象とした地域医療実習)

報 告 書

青森県健康福祉部医療薬務課



## 目 次

○ 事業の概要	1
実習施設の所在地等	2
○ むつ総合病院での実習	3
1 実習プログラム	3
2 実習生からの報告	4
(1)山梨大学医学部4年生(H21.07.07~07.10)	4
○ 公立野辺地病院での実習	5
1 実習プログラム	5
2 実習生からの報告	6
(1)琉球大学医学部5年生(H21.04.06~04.10)	6
○ 深浦町国民健康保険関診療所での実習	7
1 実習プログラム	7
2 実習生からの報告	8
(1)大阪市立大学医学部6年生(H21.04.13~05.22)	8
(2)大阪市立大学医学部6年生(H21.05.25~07.03)	9
(3)大阪市立大学医学部6年生(H21.09.07~09.18)	10
(4)東京大学医学部5年生(H21.08.24~08.28)	11
(5)弘前大学医学部4年生(H22.03.08~03.12)	12
○ 六ヶ所村尾駁診療所での実習	13
1 実習プログラム	13
2 実習生からの報告	14
(1)筑波大学医学専門学群5年生(H22.02.08~02.12)	14
(2)東京大学医学部5年生(H22.03.01~03.05)	15
○ 参考	
・平成21年度青森県地域医療を担う医師確保対策事業実施要領	
・PRチラシ	



## ○ 事業の概要

青森県では、深刻な医師不足の解消のため、「良医」を育む地域づくりに向けて様々な取組を行っており、その中で、平成18年度から、地域医療に興味を持つ全国の医学生を対象とし、へき地等の地域医療機関の協力の下、地域医療実習を実施してきたところである。

この地域医療実習は、①随時、医学生からの申込を受け付けていること、②実習先もへき地医療拠点病院やへき地診療所等から選択できること、③実習内容は実習先によって多彩であること、④実習先までの往復交通費は県が負担し、宿泊場所は実習先が確保する等医学生の金銭負担が少ないことなどの特色があることから、医学生の希望に合わせた実習が可能となっている。

平成21年度の本事業については、県内12医療機関の協力を受けて実施したものである。

このうち4機関において、関東、関西を中心に合計9名の医学生が、地域医療実習に参加したところであり、本報告書は実習に参加した医学生からの実習報告を取りまとめたものである。

- ・むつ総合病院 1名(山梨大学4年生)
- ・公立野辺地病院 1名(琉球大学5年生)
- ・深浦町関診療所 5名(大阪市立大学6年生3名、東京大学5年生1名、弘前大学4年生1名)
- ・六ヶ所村尾駈診療所 2名(筑波大学5年生1名、東京大学5年生1名)

(参考：過去の実績)

平成18年度 2名

- ・深浦町関診療所 2名(大阪市立大学6年生)

平成19年度 9名

- ・むつ総合病院 5名(弘前大学5年生4名、杏林大学6年生1名)
- ・深浦町関診療所 2名(大阪市立大学6年生)
- ・東通村診療所 1名(大阪大学5年生)
- ・三戸中央病院 1名(山梨大学5年生)

平成20年度 2名

- ・深浦町関診療所 2名(大阪市立大学6年生1名、近畿大学5年生1名)

## 実習施設の所在地等



実習施設名	所在地	電話番号	ホームページ
①むつ総合病院	むつ市小川町一丁目2番8号	0175-22-2111	<a href="http://www.hospital-mutsu.or.jp/">http://www.hospital-mutsu.or.jp/</a>
②三戸中央病院	三戸郡三戸町大字川守田字沖中9-1	0179-20-1131	<a href="http://www.sannohe-hp.jp/">http://www.sannohe-hp.jp/</a>
③野辺地病院	上北郡野辺地町鳴沢9-12	0175-64-3211	<a href="http://www.hospital.noheji.aomori.jp/">http://www.hospital.noheji.aomori.jp/</a>
④大間病院	下北郡大間町大字大間字大間平20-78	0175-37-2105	<a href="http://www.shimokita-mc.jp/oma/index.html">http://www.shimokita-mc.jp/oma/index.html</a>
⑤おいらせ病院	上北郡おいらせ町上明堂1-1	0178-52-3111	<a href="http://www.town.oirase.aomori.jp/live/item.asp?g=4&amp;c=120&amp;i=10194">http://www.town.oirase.aomori.jp/live/item.asp?g=4&amp;c=120&amp;i=10194</a>
⑥名川病院	三戸郡南部町大字平字虚空蔵29	0178-76-2001	<a href="http://www.nanbu.net.pref.aomori.jp/nagawa-hp/">http://www.nanbu.net.pref.aomori.jp/nagawa-hp/</a>
⑦平内中央病院	東津軽郡平内町大字小湊字外ノ沢1-1	017-755-2131	<a href="http://www.town.hiranai.aomori.jp/index.cfm/40,0,149,html">http://www.town.hiranai.aomori.jp/index.cfm/40,0,149,html</a>
⑧大鰐病院	南津軽郡大鰐町大字蔵館字川原田40-4	0172-48-2211	<a href="http://www.town.owani.aomori.jp/hospital/">http://www.town.owani.aomori.jp/hospital/</a>
⑨関診療所	西津軽郡深浦町大字関字柝沢78-2	0173-76-2109	
⑩東通村診療所	下北郡東通村大字砂子又字里17-2	0175-28-5111	<a href="http://www.nohana.net/">http://www.nohana.net/</a>
⑪田子診療所	三戸郡田子町大字田子字前田2-17	0179-32-3171	<a href="http://www.town.takko.aomori.jp/000000s10002000.htm">http://www.town.takko.aomori.jp/000000s10002000.htm</a>
⑫尾駮診療所	上北郡六ヶ所村尾駮野附1161	0175-72-2791	<a href="http://www.obuchi-clinic.net/">http://www.obuchi-clinic.net/</a>

# むつ総合病院での実習

## 1 実習プログラム

むつ総合病院は、青森県下北半島のほぼ中心部に位置しており、下北医療圏における唯一の中核病院で、二次救急病院としての役割を担っております。しかし、県内の主要都市から遠隔にあるため実際には一次から三次救急まで幅広い医療を行っており、高次病院ではなかなか経験できないような症例を多数経験できますので実習には最適な状況にあるといつてよいでしょう。

また、指導医はじめコメディカルスタッフも実習受け入れに対し、大変前向きで積極的です。第一線病院での日常を通して、きっと実り多い有意義な実習ができるものと思います。

### ○実習内容

- ・ 外来診療の見学・予診
- ・ 病棟における参加型実習
- ・ 訪問診療の実際
- ・ 他施設との連携を学ぶ
- ・ 診療カンファレンス、スタッフミーティング、症例検討会などへの参加
- ・ 地域交流
- ・ 医師会活動との連携を知る

### ○行動目標

- ・ 地域に特徴的な疾患を理解する
- ・ 外来患者・入院患者を通してへき地における医療環境を学ぶ
- ・ 訪問診療を通して患者の生活環境や健康を考える
- ・ へき地における患者・家族を中心に医師・看護師をはじめとする医療従事者とのコミュニケーションのとり方を学ぶ

### ○プログラム

	午 前	午 後
月	待合室実習、外来診療	入院医療 病棟回診・カンファレンス
火	地域診療所での診療	訪問看護
水	外来診療	入院医療 症例検討会
木	地域診療所での診療	訪問診療
金	外来診療	入院医療・症例検討会 スタッフミーティング

- ・ へき地医療拠点病院としての役割とその実態及びへき地医療の生きた現場を体験することを主眼とした実習であるため、その主旨に添うよう状況により一部変更することがある。

## 2 実習生からの報告

### (1) 山梨大学医学部4年生

実習期間	平成21年7月7日から平成21年7月10日まで
実習内容 (概要)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 外科手術の見学(麻酔導入から覚醒まで)</li><li>・ 臨床病理カンファレンスの見学</li><li>・ リスクマネジメント委員会の見学</li><li>・ 研修医勉強会への出席</li><li>・ 病棟回診の見学</li><li>・ 心臓カテーテル検査とステント留置術の見学</li><li>・ 心臓エコー検査の見学と体験</li></ul>
実習に対する感想	<p>わずか4日間の実習でしたが、数々の貴重な体験をさせていただき、非常に濃密で充実した時間を過ごすことができました。</p> <p>むつ総合病院では、地域医療を担う中核病院として、スタッフ一人ひとりがそうした気概と責任感をもって医療に臨んでいるという印象でした。そのような中でも学生の私に対して温かく接していただき、質問にも丁寧に分かりやすく答えて下さいました。</p> <p>現場の先生方と話す機会も多く、医療の現状や医師としての心構えなどについても知ることができ、心動かされる部分もありました。</p> <p>また、青森の自然や魅力にも触れることもあり、有意義な実習になったと思います。</p> <p>本当にありがとうございました。</p>
実習に対する意見 ・ 要望	診療所と総合病院との地域連携の様子も見たかったです。

# 公立野辺地病院での実習

## 1 実習プログラム

### 【臨床知識】

#### ○一般目標

- ・外科学の基本を理解し、手術適応や創傷治症等について学ぶ。また、救急医療の基本を学ぶ。＜外科＞
- ・内科学の基本を理解し基本的な症候・検査・治療法を学ぶ。＜内科＞

#### ○到達目標

- ・消化器、甲状腺、乳腺の外科疾患、救急医療についての基本的知識を理解する。＜外科＞
- ・消化器疾患、呼吸器疾患、循環器疾患についての基本的知識を理解する。＜内科＞
- ・それぞれの代表的な疾患についての治療法を理解する。＜外科・内科＞

#### ○カリキュラム

##### ★外科

	月	火	水	木	金
午前	病棟回診 HD回診	写真見せ 病棟回診 療養病棟回診	P O C 病棟回診 HD回診	病棟回診 HD回診	病棟回診 HD回診
午後	手術or麻酔 病棟回診	手術or麻酔 病棟回診	手術or麻酔 病棟回診	手術or麻酔 病棟回診	手術or麻酔 病棟回診

※希望するなら火曜日、水曜日の午前外来診療可

※症例があればアンギオ、P T A等も随時施行

※術後のX線検査は、病棟回診前に施行

##### ★内科

	月	火	水	木	金
午前	検査見学 (内視鏡・ 超音波)	療養病棟回診	検査見学 (内視鏡・ 超音波)	外来見学	検査見学 (内視鏡・ 超音波)
午後	内科病棟回診  外来写真見せ	検査見学 大内視鏡 E R C P 外来写真見せ	訪問診療 (在宅療養 者診察) 外来写真見せ	検査見学 大内視鏡 E R C P 内視鏡フィルム検討	内科病棟回診  外来写真見せ

## 2 実習生からの報告

### (1) 琉球大学医学部5年生

実習期間	平成21年4月6日から平成21年4月10日まで
実習内容 (概要)	内科系・・・外来、検査(腹部エコー、胃カメラ、大腸カメラ)、処置、回診、レントゲンカンファレンス  外科系・・・手術(実習中3回参加)、回診  その他・・・透析室見学、療養病棟見学、夜間救急
実習に対する感想	一週間という短い期間ではありましたが、当初の希望どおり、病院の行っている業務を幅広く見学させていただきました。 その中で観じたのは、最近報道で良く取り上げられる医師不足の現状です。野辺地病院の場合は、医師は院長先生も含めて全8名で、その中で病棟当直、救急対応をまわすことになるため、通常でも常にギリギリの状況で、誰かが体調を崩したり、手術が長引いたり、救急が多かったりすると無理しないといけなくなる状況です。県内の他の病院も同様のようで、自分も手助けができるよう一層の努力をしたいと思います。
実習に対する意見 ・要望	県外からでは、県内の、特に臨床研修指定病院以外の施設へ見学の申込をすることは、なかなか敷居が高いので、病院をいくつか指定し、その中から選択して県の方で仲介するというこの制度は大変ありがたいものでした。 興味を持つ人がいれば、紹介したいと思います。

# 深浦町国民健康保険関診療所での実習

## 1 実習プログラム

当診療所は、青森県の日本海側に位置するへき地診療所です。高度医療・専門病院まで遠隔地であることから、在宅医療を必要とする患者も多く、プライマリ・ケアの基本的な診療能力を習得するために効果的な実体験が可能です。

診療所は内科を中心に1日70人前後の患者さんがおり、乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層の疾患の診療を経験できるとともに、創傷処理をはじめ中心静脈用カテーテル挿入、気管切開などの外科的手術も随時行われます。

また、原則的に夜間・休日の救急患者にも対応するとともに、山間無医地区への巡回診療や在宅診療、訪問看護の同行なども定期的に行われます。

小規模な診療所ですが、人間ドックも実施しており、内視鏡、超音波検査を始めほとんどの検査機器を備えており、実習期間中に検査手技の理解が高められます。

外来実習を通じて、実践的な診療の理解とともに患者とのコミュニケーション方法、医師とコメディカルスタッフからなるチーム医療のあり方を学んでいただきたい。

このほか、診療所には、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、保健活動部門が入っている「地域包括ケアセンター」を併設しており、地域包括医療（ケア）を実習することも可能です。

最後に当診療所での実習は、体験が主体であり、指導医とのマンツーマンで総合診療在宅医療の現場を実体験することになります。

【指導医】 所長 柳 善佑（外科学会認定医）

### ○カリキュラム

	午 前 8:15～12:00	午 後 13:00～17:00
月	外来実習（患者の診察、処置、継続薬の処方、点滴、静注、消毒、内視鏡検査、超音波検査、レントゲン検査等随時）	特養老人ホーム訪問診療
火	外来実習	外来実習
水	外来実習	在宅患者訪問診療
木	外来実習	山間無医地区訪問診療 在宅患者訪問診療
金	外来実習	各種予防接種（学校・保育園各種検診）（ドック事後指導）（訪問看護同行実習） 在宅ケアカンファレンス（隔週）

※学生は指導医と患者の診療に当る。

※担当症例により検査・処置・手術は随時見学可能である。

※各種検診、ドック事後指導は時期により変更がある。

※原則的に夜間・休日等の救急患者にも対応する。

## 2 実習生からの報告

### (1) 大阪市立大学医学部 6 年生

実習期間	平成 21 年 4 月 13 日から平成 21 年 5 月 22 日まで
実習内容 (概要)	<p>外来実習は内科を中心に幅広い年齢層の疾患の診療(診察、処置、薬の処方、点滴、注射、内視鏡検査、超音波検査、レントゲン検査など)の実習を行った。</p> <p>訪問診療では、特養老人ホーム、在宅患者宅への往診、山間無医地区での実習を行った。</p> <p>他に、予防接種、学校検診、訪問看護同行などの実習も行った。</p>
実習に対する感想	<p>様々な分野の疾患、幅広い年齢層の患者さんの診療を指導医とマンツーマンで体験させていただいたことで、実践的な知識を身に付けることの重要性や、患者さんとの信頼関係、コメディカルスタッフとのチームワークの大切さを学ぶことができました。</p> <p>訪問看護では、在宅での治療の現場を実際に体験することができ、有意義であったと思います。</p> <p>そして、何よりも医師としての心構えや、生涯学習に対する姿勢、正確には技術を身につけることの大切さを学ぶことができ、これからの大きな糧になると感じました。</p>
実習に対する意見 ・要望	特にありません。

## (2) 大阪市立大学医学部 6 年生

実習期間	平成 21 年 5 月 25 日から平成 21 年 7 月 3 日まで
実習内容 (概要)	<p>外来実習、往診、訪問看護に同行し、実践的医療を学んだ。</p> <p>具体的には、乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層を相手に、総合内科的な医療を、また創傷処理をはじめ気管切開や中心静脈カテーテル挿入など外科的手術も学んだ。</p> <p>さらに、様々な検査機器を用い、一患者を最初から最後まで診るということを体験した。</p>
実習に対する感想	<p>今まで大病院の実習しかしたことがなく、今回初めて地域医療という実習をした。</p> <p>ここでは、患者さんとのより近い距離で接する医療を肌で感じることができた。そして、一医師としての患者をはじめ、他の医療スタッフ、事務員、包括ケアを担当する保健師の皆様とのコミュニケーションの重要性を再認識することができた。</p> <p>今回の実習を通し、非常に充実した有意義な体験をすることができた。</p>
実習に対する意見 ・要望	<p>先生をはじめ、看護師、事務員の皆様に、大変お世話になりました。</p> <p>短い期間でしたが、本当にありがとうございました。</p>

(3) 大阪市立大学医学部 6 年生

実習期間	平成 21 年 9 月 7 日から平成 21 年 9 月 18 日まで
実習内容 (概要)	<p>第一週目は、診療所での実習で、先生の診察を見学し、一緒に問診をしたり、実際に身体所見をとったりしました。また、採血やいくつかの注射に関しても看護師さんと一緒にやらせていただきました。往診に関しては、月、水、木の午後からあり、それにも同行させていただき、実際の業務を手伝わせていただきました。</p> <p>第二週目は、午前中の実習が訪問看護への同行に変わり、患者さんの家に看護師さんと一緒に行き、業務を手伝わせていただきました。</p>
実習に対する感想	<p>私自身、将来は地域医療に携わっていきたいと考えていますので、今回の実習はとても有意義なものになりました。実際の地域医療に学生ながら参加させていただき、多くの患者さんと接し、またいくつかの手技に関して実際にやらせていただき、とても楽しかったです。</p> <p>柳先生の医療観も聞かせていただき、とても勉強になるとともに、私の今後の人生に対するモチベーションにもつながりました。</p>
実習に対する意見 ・要望	<p>とても有意義な実習でした。今回は診療所の先生が知り合いであったため、このシステムを知りましたが、他の人(学生)はなかなか知ることができないと思います。</p> <p>学生の中にも地域医療を志す学生はたくさんいますので、もっとこのシステムを知らせるツールがあっても良いと思います。</p>

(4) 東京大学医学部5年生

<p>実習期間</p>	<p>平成21年8月24日から平成21年8月28日まで</p>
<p>実習内容 (概要)</p>	<p>柳善祐先生の御指導のもと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外来見学、実習(診察、処置、検査、手術など)</li> <li>・ 往診(一般家庭、無医地区、特別養護老人ホーム)同行</li> <li>・ 予防接種外来見学、実習</li> <li>・ 訪問看護同行</li> <li>・ 時間外救急外来見学、実習</li> <li>・ 深浦町小児検診見学</li> </ul> <p>等を行った。</p> <p>その他、先生の御自宅にて、ビデオや書籍による勉強会を随時開いていただきました。</p>
<p>実習に対する感想</p>	<p>東京の大学病院で実習する日々、地域医療・総合医療の現場を自分の目で見、体感したいと思い、本プログラムに申し込み致しました。1週間という短い期間でしたが、北の日本海に面する町、深浦の診療所で多くのことを学び感じました。たった1人の患者さんのもとへ、片道1時間近くの間を掛けて向かう往診、たった1人の医師を頼み求めて今日も山を越えやってくる人々、家庭の中に深く根差した訪問看護—当初想像していたよりもずっと高度で手厚い医療が提供されていたその背景に、ドクターたちの熱い思いを強く感じました。</p> <p>いわゆるへき地での医療は、幅広い疾患を診断・治療する高い技術、地域に溶け込み信頼関係を築く努力、地域の医療を一手に担う責任感と体力など、多くの厳しさがある一方、医師として地域で生きる喜び、充実感もまた計り知れないものなのだろうと、「津軽の赤ひげ先生」の背中を見ながら考えていました。</p> <p>診療所の皆様、先生の御家族には、本当に温かく受け入れていただき、きめ細かく御指導を賜りました。将来の進路はまだ考えているところですが、ここでの経験を胸に今後も医学の道を精進してゆきたいと思えます。</p>
<p>実習に対する意見 ・ 要望</p>	<p>参加させていただき本当に良かったと感じております。途中、県の職員の方にもお会いし、お話を伺う機会もいただきました。</p> <p>実習期間が他県より長く、医療機関も多くの中から自由に選ばせていただけるなど、大変魅力的なプログラムですので、ぜひ多くの医学生に広く宣伝なさってほしいと存じます。</p> <p>最後になりましたが、一学生にこのような貴重な機会を与えていただいたことを関係の皆様方に厚く御礼申し上げます。有り難うございました。</p>

(5) 弘前大学医学部4年生

<p>実習期間</p>	<p>平成22年3月8日から平成22年3月12日まで</p>
<p>実習内容 (概要)</p>	<p>月曜日 午前：外来、一般診察の見学 午後：特別介護施設「はまなす苑」の見学 火曜日 午前：外来 午後：小手術の見学(胃瘻交換、胸腔ドレナージなど) 水曜日 午前：訪問看護、午後：外来 木曜日 午前：訪問看護、午後：在宅 金曜日 午前：外来、午後：予防接種、健康診断(幼児)</p>
<p>実習に対する感想</p>	<p>期待していたよりもさらに多くのことが学べる素晴らしい実習でした。柳先生がご多忙であるにもかかわらず熱心に教えてくださったため、今まで曖昧だった知識を根本から鍛え直す機会になりました。 また、毎日診察終了後にも診療所にて画像の読み方を習ったり、DVDで自習したりと、まったく退屈する暇がない有意義な5日間でした。 食事や宿舎などの環境も良く、非常に感謝しています。 何よりも地域医療の本当の姿を垣間見ることができ、感動しました。</p>
<p>実習に対する意見 ・要望</p>	<p>特に目立った不具合はありませんでした。 自分以外にも地域医療を志す弘前大学の学生に同じ体験をして欲しいと思いました。 ありがとうございました。</p>

# 六ヶ所村尾駁診療所での実習

## 1 実習プログラム

地域医療・家庭医療の実践と研究をおこなっています。地域から見える新しい形の医療と一緒に学びましょう。

### 【臨床知識・技術・態度】

#### ○ 一般目標

【地域医療の方法】の基本を理解し、外来診療に用いることができる。

#### ○ 到達目標

- ・ 外来診療を類型化して分析することができる。
- ・ EBM並びに仮設演繹法を用いた臨床診断の手順を説明し、実践する。
- ・ 患者中心の医療の方法（PCM: patient-centered clinical method）を説明し、外来診療で用いることができる。
- ・ 地域アプローチを説明し、臨床でどのように用いられるかを考察できる。

#### ○ 方略

- ・ 随時ミニレクチャーを行い、到達目標にあげた地域医療を行う上で必要な基本的な方法を学習する。
- ・ 外来診療の方法は、実践の外来診療を見学しながら指導医の診療を分析し議論することで学習する。基本を理解した後は自ら診療を行い毎日の検討会でフィードバックを受ける。
- ・ 臨床診断の演習は、外来診療の合間あるいは診療時間終了後に、実際の症例を用いて行う。基本を理解した後は自ら外来診療を行い毎日の検討会で指導医にフィードバックを受ける。
- ・ 地域アプローチの実際は、外来ケースを用いたカンファレンスと介護保険のかかわりの中で学習する。実習中に自分の担当したケースをもとに地域アプローチに関するレポートを提出する。

	月	火	水	木	金
午前	外来/ 検査見学	外来/ 検査見学	外来/ 検査見学	外来/ 検査見学	外来
午後	外来 産業医活動	外来 往診	外来 地域ケア会議	外来 千歳平診療所 (出張診療)	外来 老健回診
夕方	検討会	検討会	検討会	検討会	検討会
備考	研修生の研 修日				知的障害者 施設巡回

なお、ミニレクチャーは昼休みあるいは夕方の検討会を利用して行う。

ポートフォリオのフィードバックは原則的に金曜日に行う。

## 2 実習生からの報告

### (1) 筑波大学医学専門学群5年生

実習期間	平成22年2月8日から平成22年2月12日まで
実習内容 (概要)	<p>毎日の外来・検査(上部・下部消化管内視鏡、気管支鏡)に加え、                  2/8 抄読会 役場での健康推進会議                  2/9 新型インフルエンザ集団接種 1歳6ヵ月健診                  2/10原子燃料サイクル施設の視察                  2/11 祝日                  2/12 巡回バス同乗 老健施設往診 救急隊とのカンファレンス・懇親会                  など、日替わりで多様な内容の実習ができた。                  また、外来終了後に、その日に施行したX線、CT等の検討会、PCM                  カンファなどがあつた。</p>
実習に対する感想	<p>ホームページで青森県の地域医療実習の存在を知り、僻地医療を体験する絶好の機会と思って応募しました。尾駮診療所を選んだのは、病院より診療所の方がより地域に密着した医療を提供しているのではないかと考えたこと、原燃施設が近くにあり、実習のついでに見学してみたかったことなど、とてもお粗末な理由からした。</p> <p>実際には、CTや各種内視鏡検査も行い、救急搬送も受け入れていて、小さな診療所でゆっくりじっくり外来診療という私の勝手な僻地医療のイメージは脆くも崩れ落ちました。</p> <p>忙しい外来診療が終わると、その日に行った画像検査や心電図検査の結果の検討会があり、1例1例丁寧に検討するため、大変勉強になりました。またPCM(patient-oriented medicine)や地域医療について先生からレクチャーをしていただきました。「地域医療は基本的な手技の組み合わせ」、「患者を変えるのではなく、医者が地域や患者に巻き込まれて変わっていくこと」など、多くのことを教えていただきました。</p> <p>この実習で地域医療が理解できた！と書きたいところですが、1週間の実習では、まだまだ分からないことばかりです。今回の実習にとどまらず、今後も機会を探して、もっと地域医療を知りたいと思わせてくれる実習でした。</p> <p>また、診療所の実習以外に、先生の産業医活動の一環としての原燃施設の視察に同行させていただきました。現在建設中の放射性廃棄物の保管庫内を見学させていただきました。稼働後は絶対に人間が立ち入ることの出来ない区域で、非常に貴重な経験をさせていただきました。</p> <p>さらに、祝日には役場の方に、十和田湖へ観光に連れて行っていただき、温泉にも入りました。とてもおいしいお食事もご馳走していただき、本当に魅力溢れる実習でした。</p> <p>最後になりましたが、尾駮診療所の松岡先生、大谷先生、研修医の藤原先生、看護師さん、事務長の酒井さん、六ヶ所村役場の福士さんをはじめ、多くの方にお世話になりました。ありがとうございました。また、このような貴重な機会を作ってくださいました青森県の職員の方々にお礼申し上げます。</p>
実習に対する意見・要望	<p>とても充実した実習でした。もっと多くの学生がこの実習の存在を知り、参加できるといいと思います。私も、同級生などに勧めたいと思います。</p>

(2) 東京大学医学部5年生

実習期間	平成22年3月1日から平成22年3月5日まで
実習内容 (概要)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 外来を見学し、適当な患者さんがいらっしゃる場合には実際に問診を行った。</li><li>・ 検査日であれば、内視鏡・エコーなどを見学した。</li><li>・ 往診に同行した。</li><li>・ ぼんてん荘（特別養護老人ホーム）など他の医療・福祉施設を見学した。</li></ul> <p>事務の方に六ヶ所村の近況を説明していただいたり、観光施設を案内していただいたりした。</p>
実習に対する感想	<p>昨年夏、深浦町診療所で実習をしたクラスメートがおり、大変感銘を受けたという話を聞いた。ロコミで参加することにした。</p> <p>私は東京の大学に通っている。さすが東京は人口も多く至るところに大病院があるが、日本は端っこまで行ってもそこに人は生活しているわけで、医療は欠かすことができない。今回1週間訪れた六ヶ所村は原子燃料サイクル施設を抱えているため比較的若年者が多く、真のへき地とは言えないかもしれない。しかしそれでも、患者さんに寄り添った医療・地域ぐるみでお年寄りを支える現状・医師不足・求められる医師の力量や資質といった、医師になる上で考えなければならない将来の日本像を垣間見ることができ、大変有意義であった。</p>
実習に対する意見 ・ 要望	<p>交通費が支給される点は非常によく、今後もぜひ続けていただきたいと思います。</p> <p>尾駮診療所の松岡先生・大谷先生はじめスタッフの皆さんや、実習の調整に力を貸してくださった青森県の齋藤さん、またこのような機会を提供してくださった関係者の方々に感謝申し上げます。</p>